

●調査研究委員会

(1) 第1部会「新荷役システム調査研究委員会」

①調査研究テーマ

効率的なコンテナヤード配置及び国際コンテナ戦略港湾の国際競争力強化のための荷役システムのあり方に関する調査研究（継続）

②調査研究活動報告

当委員会が提案する新しい縦型配置ターミナル（新方式）に関し、シミュレーションを実施し、移載エリアを中心にボトルネックの原因とその解消方策について検討を行った。

また、遠隔操作型 STS クレーン等、海外コンテナターミナルに導入された自動化・遠隔化技術について海外視察研修等を通じて事例調査を行った。

(2) 第3部会「付帯施設標準化調査研究委員会」

①調査研究テーマ

クレーンの注意喚起表示、標識の調査研究（新規）

②調査研究活動報告

今回の調査において、走行装置周り、歩道、機械室について調査を行った。どのメーカーも概ね同じ内容（危険の程度、内容、表示方法）であることが分かった。また、安全標識に記載する表示方法も JIS に沿った配色、区分、内容が記載されていた。本調査研究結果は、必要最低限の安全標識について記載したため実際の港湾荷役クレーン製造、運用においては安全標識以外の方法も含めて適切にリスク低減、危険源の除去を行うことを含めて調査報告をまとめた。

(3) 第4部会「荷役機械用電機設備調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナクレーン製作工事共通仕様書の見直し（新規）

②調査研究活動報告

機械関係の仕様内容は除き、仕様書全体にわたり、電気関係の記載内容について、確認を行った。現状の記載内容では、判断できない分かりづらい箇所も有り、その箇所については、詳細な解説を入れることで、仕様書作成者および発注者に分かりやすい仕様書とすることとした。変更箇所が多岐にわたったため、本年度は、本文のみの修正までしか完了できなかった。

引き続き、次年度も継続し、解説の修正まで完了させる予定である。